

発達障害 Q&A

よく寄せられるご質問から

Q2 発達障害は治りますか？

A2 発達障害は生まれつきの特性が、年齢とともに様々な症状を現していきます。すべての症状をなくすことは難しいと思います。また、同じ症状であってもいつも同じ対応でよいというわけではありません。治療や療育は発達状況や環境にあわせてそれぞれの段階に応じて行われますが、その人なりの成長・発達が必ずあることを認識していただきたいと思います。

発達障害は見た目でわかりにくいといわれます。「○○がこんなにできるのに、なんでこれが全くだきないの？」というように機能にアンバランスがあります。そこから生じる社会の中での困った行動を、本人の頑張りや親のしつけでなんとかするべきという周囲の見方が、ただでさえ誤解や偏見を受けやすい本人や家族をさらに追いつめていくことにもなりかねません。「発達障害だからトラブルを起こす、仕方がない」と簡単に考えず、理解しづらいかもかもしれませんが、長い目で見守り、サポートして頂きたいと思います。

回答者

世田谷区発達障害相談・療育センター 診療所長
山崎晃資(医師)

世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」

開所日時

月～土曜日（祝日及び年末年始を除く）
午前9時～午後6時

利用方法

利用は予約制です。利用を希望される方は、世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」へお電話にてお申し込みください。

所在地・連絡先

〒157-0074 世田谷区大蔵 2-10-18
大蔵二丁目複合型子ども支援センター 2・3階
TEL 03-5727-2235（代表）
03-5727-2236（相談専用）
FAX 03-5727-2238
URL <http://www.ryo-iku.jp>

業務受託：社会福祉法人 嬉泉

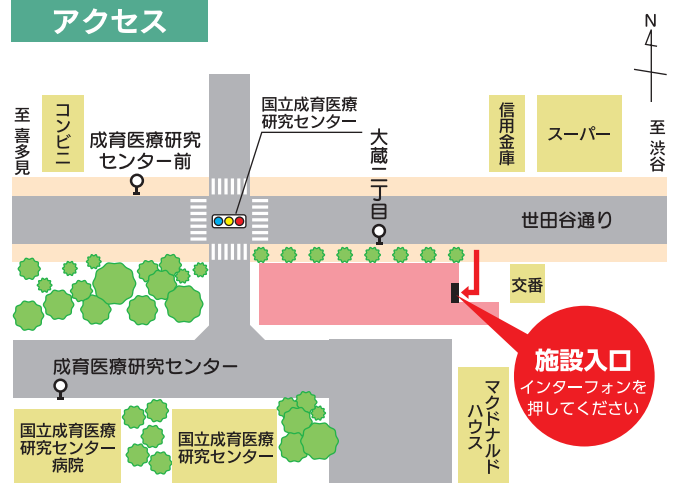
〒156-0055 世田谷区船橋 1-30-9
TEL 03-3426-2323 FAX 03-3706-7242
URL <http://www.kisenfukushi.com>

編集後記

つい大人の目線や都合で考えてしまいがちですが、子どもたちの困った行動は、子ども自身が感じる困難さや考えが背景になっていることがあります。子ども自身もそのことをどう伝えればいいのかわからないことも多く、どうしてこの行動をしているのか、なかなか周囲から理解されません。子どもの事情や気持ちをくみ取り、代弁し、周囲の方の理解につなげていくことも、私たちの大切な仕事と考えています。

今年度から紙面の雰囲気が変わったとの声も頂いていますが、いかがでしょうか。これからも、多くの方の発達障害理解のため、より見やすい紙面づくりに努めていきたいと思っております。

アクセス



「成育医療研究センター前」「大蔵二丁目」バス停下車すぐ

東急バス・小田急バス

【渋24】 成城学園前駅 ↔ 渋谷駅

東急バス

【都立01】 成城学園前駅 ↔ 都立大学駅北口

【等12】 成城学園前駅 ↔ 等々力操車所

【用06】 成城学園前駅 ↔ 用賀駅

小田急バス

【渋26】 調布駅南口 ↔ 渋谷駅

東急コーチ

【玉31・32】 二子玉川駅 ↔ 成育医療研究センター

渋谷方面行きのバスにご乗車の場合は「成育医療研究センター前」で下車。東急コーチ、成城学園前駅行き、調布駅南口行き方面のバスにご乗車の場合は「大蔵二丁目」で下車。

※専用駐車場はありません。